

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
7	開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査	開発行為等に伴う試掘調査及び本調査	文化財補助金(国費)、受託金、単費	市	←————→				
8	史跡範囲確認調査	宝塚古墳、猪目洞窟遺物包含層等の史跡の範囲確認及び内容確認調査	文化財補助金(国費)、単費	市		←————→			
9	遺跡地図(GIS)及び遺跡台帳の更新	調査成果を踏まえたGISによる遺跡地図及び遺跡台帳の更新	文化財補助金(国費)、単費	市		←————→			
10	保管遺物の再整理	保管遺物から新たな学術的価値を引き出すための最新知見に基づく再整理	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
11	文化財専門職員等の確保	埋蔵文化財専門職員及び史料調査専門職員の計画的雇用	単費	市	←————→				

2. 文化財の修理・整備・修理技術等継承に関する取組

文化財建造物や美術工芸品、考古資料を良好に維持していくためには、適切な周期での保存修理の実施が必要です。具体的な措置として、建造物文化財では、老朽化が著しい大正13年(1924)に建てられた「重要文化財 旧大社駅本屋」保存修理を継続事業として実施するほか、「重要文化財 日御碕神社社殿」修繕に向けた国、県との調整及び支援、修理時期を迎える県指定文化財建造物の修繕に向けた県との調整及び支援を行います。

仏像等の美術工芸品については、修理が必要なものの把握を進め、対応を図っていくほか、上島古墳出土馬具等の出土品保存処理を進めます。そして、適切な周期で保存修理を行うことにより、修理技術の継承や原材料の確保につなげていきます。

史跡については、奈良時代の道路遺構として貴重な「国史跡 出雲国山陰道跡」の保存活用計画の策定と史跡整備を進めます。また、「国史跡 荒神谷遺跡」の整備改修を引き続き進めるほか、近世の生産遺跡として海と山のたたら製鉄を営み松江藩の一大産業となった「国史跡 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡」のガイダンス施設等の史跡整備、将来的には、中世の山林寺院として貴重な「国史跡 鰐淵寺境内」の環境整備や、全国でも希少な未盗掘古墳である「国史跡 国富中村古墳」の整備を計画していきます。

今後、公有地化や指定範囲の追加のほか、文化財の魅力発信や歴史学習につながる史跡整備を実施することにより、保存・活用を図っていきます。

- 【重点的な取組】 ○計画的な史跡保存活用計画策定
○適切な周期による建造物保存修理及び史跡整備

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
12	国史跡の保存活用計画の策定	国史跡の確実な継承を図るための保存活用計画の策定(国富中村古墳、今市・塩冶地域の古墳群等)	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
13	国史跡荒神谷遺跡改修整備	整備後約30年が経過し老朽化した遺跡復元整備地及び見学施設の改修整備	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
14	国史跡出雲国山陰道跡整備	奈良時代の道路遺構として貴重な出雲国山陰道跡の保存活用のための整備	文化財補助金(国費)、単費	市			←————→		
15	国史跡鱈淵寺境内環境整備	根本堂等建造物の老朽化による保存修理、排水設備等環境整備及び防災施設整備	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	所有者					←————→
16	国史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備	たたら関連施設等の現地整備及び保存活用の拠点となる遺跡ガイダンス施設整備	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
17	国史跡国富中村古墳現地整備	全国で希少な未盗掘古墳の石室内を見学できる現地施設の整備	文化財補助金(国費)、単費	市					←————→
18	重文旧大社駅建造物保存修理	建築後約100年経過し、老朽化著しい重文旧大社駅舎の半解体修理工事及び構造補強工事等	文化財補助金(国費・県費)、単費	市	←————→				
19	重文日御碕神社建造物保存修理	重文日御碕神社の老朽化した石造鳥居の保存修理工事	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	所有者		←————→			
20	県指定文化財建造物保存修理	老朽化した県指定文化財建造物の保存修理工事	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	所有者			←————→		
21	美術工芸品等有形文化財保存修理	仏像等の現況把握と修理を要する文化財の保存修理の実施	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	市、所有者				←————→	

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
22	出土品等の保存処理	遺跡から出土した金属製品(上塩冶築山古墳・上島古墳等)や木製品等の保存処理	文化財補助金(国費)、単費、所有者	市、所有者		←	→		
23	原材料の確保及び修理技術等継承	保存修理事業等の適切な時期の計画的な実施による木工技術等の継承及び屋根材等の原材料確保	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	市、所有者、民間団体	←	→			

3. 防犯・防災対策・災害時対応に関する取組

文化財の防犯・防火は、これまで行ってきた文化財防火デーでの普及啓発活動の取組を継続して実施し、所有者等への指定文化財の良好な維持管理や日頃の備えを働きかけるとともに、盗難や火災に遭った場合の緊急連絡体制について県・市・所有者で情報共有を図ります。また、県、消防本部と連携した防犯・防火の状況確認のためのパトロールを毎年実施します。

災害発生時の対応については、出雲市が策定した防災計画等や災害時における業務継続計画に基づき対応していくほか、地震によって崩落の恐れがある古墳石室の3次元測量したデータを元に定期的な定点記録、観察を行い、劣化状況の把握と被害を受けた際に復元できるように対策をとります。また、風水害や地震など市域を超えた大災害に備え、島根県、所有者と連携し、文化財の避難体制の構築を検討していきます。

【重点的な取組】 ○防災普及啓発・パトロールの実施

○災害時の体制づくり

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
24	防火、防犯の普及啓発	所有者等への防火、防犯についての情報発信及び普及啓発	単費	市	←	→			
25	指定文化財の維持管理	指定文化財及び保管施設の所有者等への適切な維持管理の働きかけと緊急連絡体制の確認	文化財補助金(国費等)、単費、所有者	所有者	←	→			
26	文化財防火パトロール	県及び消防本部と連携した文化財防火パトロールの実施	単費	市、所有者	←	→			

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
27	文化財所有者等による防災訓練	文化財所有者、地域住民が参画した防災訓練	—	所有者、地域住民	←————→				
28	古墳石室等の定点記録	石室（今市大念寺古墳・上塩治築山古墳）等の3次元測量データに基づく定期的な定点記録及び観察	単費	市	←————→				
29	災害時における防災計画等による対応	市防災計画及び業務継続計画による災害時の対応	単費	市	←————→				
30	災害時における文化財避難体制の構築	市域を超える災害に対応した文化財避難体制の確立及び関係機関との文化財情報の共有	単費	市	←————→				

4. 情報発信・普及啓発に関する取組

文化財が持つ価値や魅力を伝えていくため、研究成果を生かした博物館展示や講座等の開催のほか、発掘調査成果を情報発信するための遺跡見学会や発掘調査速報展を開催し、情報発信と普及啓発に努めます。

文化財の保存対策を行ったうえで、文化財を観光資源として活用していくことは、観光客に今まで知られていなかったような文化財にもスポットライトをあてる手法として有益と考えられます。具体的には、市観光部局、観光事業者や地域団体と連携し、利用可能な文化財の抽出と活用方法の検討を進めたうえで、多言語に対応したウェブサイトやSNS、現地看板による情報発信に取り組みます。

近年、文化財を会場とした活用など（ユニークベニュー）が、文化財の新たな活用方法として全国的に進められています。出雲市においても、西谷墳墓群の弥生王墓での小学生による墓上祭祀体験や重要文化財建造物での神楽上演を行っており、文化財の新たな活用方法について検討していきます。

古墳、山城跡、風土記登場地や関連文化財群及び歴史文化保存活用区域などの共通の課題である文化財見学ルートについては、地域住民や関係団体の参画によりルート構築し、市民、観光客の利用促進を図ります。また、分かりやすい文化財パンフレット作成、調査・研究成果の報告書等の発刊、さらには先端技術を活用したVR、AR等による情報発信を進めていきます。

【重点的な取組】 ○博物館展示及び各種媒体による情報発信

○文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
31	博物館展示、講座の開催	文化財調査や古文書調査による研究成果をいかした博物館展示、講座の開催	文化財補助金（国費）、単費	市	←————→				
32	遺跡見学会、発掘調査速報展の開催	発掘調査成果をいかした遺跡見学会、出土品等の速報展の開催	文化財補助金（国費）、単費	市	←————→				
33	活用可能な文化財の抽出と活用方法の検討	観光誘客につながる文化財抽出、活用方法の検討	単費	市、観光事業者	←————→				
34	ウェブサイト、SNSによる情報発信	文化財の紹介動画などのウェブサイトやSNSによる情報発信（多言語対応）	単費	市、観光事業者	←————→				
35	分かりやすい文化財パンフレットの作成	誰にでも分かりやすく、行ってみたいくなる文化財紹介パンフレットの作成	文化財補助金（国費）、単費	市	←————→				
36	調査・研究成果を収めた報告書の発刊	博物館研究紀要、文化財調査報告書等の発刊	単費	市	←————→				
37	案内・説明看板の作成	史跡や博物館展示の案内・説明看板の作成（多言語対応）	文化財補助金（国費）、単費	市	←————→				
38	VR、AR等先端技術を活用した情報発信	文化財の仮想体験や、当時の様子等を視覚的に伝えるのに効果的なVR（仮想現実）、AR（拡張現実）を活用した情報発信	文化財補助金（国費）、単費	市	←————→				
39	文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	関連文化財群・歴史文化保存活用区域、風土記登場地や山城跡等の見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金（国費）、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

7. 博物館に関する取組

地域密着型の博物館として、文化財の調査・研究、展示・発信、古文書等資料の受け入れや他の博物館連携などを進めていくため、出雲弥生の森博物館の役割の強化について検討していきます。また、同じ市立の考古系博物館である荒神谷博物館の荒神谷遺跡のガイダンス施設としての役割強化の検討を進めていきます。

市立博物館の中心施設として、展示内容をより充実させていくため、展覧会を計画的に企画し、それに向けた展示研究のための調査を進めるとともに、寄託品・寄贈品を含めた資料収集の強化を図ります。

また、学校や地域に博物館職員を派遣する出前講座活動や、学校教育及び社会教育と博物館をつなぐミュージアムエデュケーターを育成します。

さらに、各地区のコミュニティセンターや各学校及び出雲市教育研究会小中学校社会科部会と連携し、歴史学習や文化財講座、文化財巡りなどの学習活動に協力していきます。

施設関係の課題への対策として、LED照明への切り替え、空調設備などの設備改修や免震台等の災害に備えた設備の設置を計画していきます。出土品や歴史資料の保管場所不足への対策として、当面的間、学校施設等の利活用をしつつ、保存処理設備を備えた保存施設の建設も視野に入れながら、保管場所の確保に努めます。

【重点的な取組】 ○資料収集の強化と調査研究に基づく展示充実

○博物館の役割強化の検討

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
50	出雲弥生の森博物館の役割強化の検討	文化財行政の拠点かつ地域密着型の市立博物館としての役割強化の検討	—	市	←————→				
51	荒神谷博物館の役割強化の検討	国史跡「荒神谷遺跡」のガイダンス施設としての役割強化の検討	—	市、指定管理者	←————→				
52	調査・研究に基づく展示充実	継続的な調査・研究で得た新たな知見を盛り込むことによる展示の充実	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
53	資料収集の強化	博物館の展示内容充実のための資料収集の強化(寄託品・寄贈品含む)	単費	市	←————→				
54	ミュージアムエデュケーターの育成	学校、地域と博物館の架け橋となるミュージアムエデュケーターの育成	単費	市	←————→				

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
55	博物館設備の改修	博物館施設のLED照明への改修及び空調機器等の設備改修	単費	市				↔	
56	災害に備えた博物館設備の設置	地震等の災害から博物館展示品を守るための免震台等の設置	単費	市	←————→				
57	出土品、歴史資料の収蔵施設の確保	学校施設等の利活用や保存施設建設による保管場所の確保	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				

8. 『出雲国風土記』編さん 1300 年に向けた取組

風土記の伝承地や登場地、記載事項などに由来する文化財群について、調査・研究、情報発信を進めます。古代山陰道と出雲郡家関連遺跡や新造院、古い時期に調査・評価された古墳などについても規模や性格を明らかにしていきます。また、現在伝わる風土記及び関連資料について、研究を深めるとともに、風土記編さん 1300 年シンポジウムや記念講演会等を開催し、調査・研究成果の発信にも努め機運を盛り上げ、地域活性化にもつなげていきます。

ふるさと出雲への理解と愛着醸成、まちづくりの方向性を形づくる土台となる市史については、編さん部局の体制や必要となる専門研究員等の人数、資料調査の範囲と規模、編さん関係資料の内容について、あらゆる角度から検討を進めていきます。

- 【重点的な取組】 ○風土記関連資料等の調査・研究及び情報発信
○市史編さんに向けた体制等の検討

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
58	風土記関連地、関連資料の調査・研究及び発信	風土記の伝承地や資料の調査・研究、情報発信と関連する遺跡等の規模、性格の再評価	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
59	記念事業(シンポジウム、講演会等)の開催	風土記編さん 1300 年シンポジウムや記念講演会等の開催と情報発信	文化財補助金(国費)、単費	市					↔
60	市史編さん体制の検討	市史の将来的な編さんに向けた編さん体制の検討	—	市	←————→				

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
61	資料調査専門研究員等確保の検討	市史を編さんするために必要となる資料調査専門研究員等確保の検討	—	市	←————→				
62	市史編さん関係資料調査内容の検討	市史を編さんするうえで必要となる関係資料の調査内容の検討	—	市	←————→				

9. 日本遺産・関連文化財群に関する取組

日本遺産では、「日が沈む聖地出雲」のストーリーや魅力あふれる有形・無形の様々な文化財群を活用し、広く情報発信していくことにより、出雲市の活性化を図る取組を進めていきます。

関連文化財群では、文化財の種別、有形・無形、指定・未指定を問わず設定した11のテーマに基づき、地域に存在する様々な文化財の保存・活用を図ります。

また、テーマに基づく調査・研究をはじめ、出雲市の歴史文化の価値と特色や新たな魅力を見だし発信する取組を進めていきます。

さらに、文化財保存と教育普及や観光誘客などの文化財活用との両立に努めるとともに、市民や観光事業者等との協力と参加を促進しながら、歴史文化を生かしたまちづくりを促進します。

(1) 日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」

【重点的な取組】 ○構成文化財を会場とした神楽等の活用（ユニークベニュー）による
魅力発信事業の推進

○出雲を深く知る、講座と文化財巡りを合わせた「出雲塾」の実施

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
63	文化財建造物を活用した神楽公演	重要文化財日御碕神社で舞う出雲神楽公演	地方創生推進交付金(国費)、単費	日本遺産推進協議会、観光事業者	←————→				
64	稲佐の浜夕刻篝火舞	国譲り神話の地「稲佐の浜」で舞う神楽公演	—	日本遺産推進協議会、神楽団体	←————→				

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
65	「きらり」と光る出雲の歴史文化再発見	出雲の歴史文化を深く知る「出雲塾」ツアー	単費	日本遺産推進協議会、観光事業者	←————→				
66	日本遺産PR	SNS、パンフレット、現地ガイドによる情報発信	単費	日本遺産推進協議会、観光事業者	←————→				

(2) 関連文化財群

- 【重点的な取組】 ○各テーマの情報発信及び保存・活用の推進
○文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

①今に息づく出雲神話と風土記の世界 ～連綿と歴史文化を引き継ぐ出雲～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
67	記紀・風土記伝承地等の調査・研究及び情報発信	伝承地の調査、風土記関連資料の調査・研究と展示会等による発信	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
68	【再掲】記念事業(シンポジウム、講演会等)の開催	風土記編さん1300年シンポジウムや記念講演会等の開催と情報発信	文化財補助金(国費)、単費	市					↔
69	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者	←————→				

②神々と仏が坐す祈りの場 ～出雲特有の「神仏隔離に基づく習合」と神仏分離～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
70	寺社の保存修理及び情報発信	鱒淵寺等指定文化財の保存修理、環境整備及び寺社の情報発信	文化財補助金(国費・県費)、単費	市、所有者	←————→				

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
71	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

③出雲平野の形成と原始世界の発展 ～国引き神話と符合する平野の形成と遺跡群～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
72	博物館での展示会開催	原始世界をテーマとした博物館企画展の開催	文化財補助金(国費)、単費	市、指定管理者	←————→				
73	弥生時代の遺跡を中心とした調査・研究及び情報発信	猪目洞窟遺跡等の調査、荒神谷遺跡・西谷墳墓群の研究及び情報発信	文化財補助金(国費)、単費	市、指定管理者	←————→				
74	【再掲】国史跡荒神谷遺跡改修整備	整備後約30年が経過し老朽化した遺跡復元整備地及び見学施設の改修整備	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
75	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

④古墳時代の出雲の勢力とくらし ～社会構造と精神世界～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
76	博物館での展示会開催	古墳時代をテーマとした博物館企画展の開催	文化財補助金(国費)、単費	市、指定管理者	←————→				
77	古墳の調査・研究及び情報発信	古墳時代の出雲の勢力とくらしに関する調査・研究と情報発信	文化財補助金(国費)、単費	市	←————→				
78	主要古墳の保存活用計画の策定	国富中村古墳など国史跡主要古墳の保存活用計画の策定	文化財補助金(国費)、単費	市		←————→			

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
79	【再掲】国史跡国富中村古墳現地整備	全国で希少な未盗掘古墳の石室内を見学できる現地施設の整備	文化財補助金(国費)、単費	市					↔
80	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

⑤出雲大社と出雲の建築文化 ～大社造・神社建築の美と精神性～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
81	大社造など神社建築の情報発信	出雲地方特有の「大社造」をはじめとした神社建築の情報発信	単費	市、所有者		←	→		
82	大社造など神社建築の保存継承	指定文化財神社建造物保存修理等の保存継承の取組	文化財補助金(国費・県費)、単費	市、所有者			←	→	
83	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

⑥治水・開拓の歴史と屋敷構え ～水と生き、農地を開拓した先人たち～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
84	出雲屋敷や築地松の保存継承	出雲地方特有の散居集落の保存継承支援	単費	市、所有者、保存団体		←	→		
85	農地を開拓した先人の情報発信	大梶七兵衛など農地を開拓した先人達の情報発信	単費	市		←	→		
86	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

⑦たたらや鉱山とともに生きた足跡 ～鉄や銅などをつくり運び出してきた歴史文化～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
87	たたらガイド施設の整備	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡のガイド施設の整備	文化財補助金(国費)、単費	市		←→			
88	たたら調査・研究	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡を中心とした調査・研究	文化財補助金(国費)、単費	市	←→				
89	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←→			

⑧うみとかわの恵み ～水辺の生業～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
90	海と川の伝統的な特産品の情報発信	十六島海苔、ワカメなど古くから伝わる特産品の情報発信	単費	市、観光事業者、民間事業者			←→		
91	伝統的な海と川の幸を使った料理の再現	風土記にも登場する海と川の幸を使った料理の再現・体験	単費	市、観光事業者、民間事業者			←→		
92	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←→			

⑨地域に息づく民俗芸能や習俗 ～神々のふるさとのくらしの文化～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
93	民俗芸能の保存継承	出雲神話を伝える神楽等の民俗芸能の発表会開催	助成金、単費	市、民俗芸能保持団体	←→				
94	民俗芸能の育成支援	出雲神楽等の保持団体の育成支援	助成金、単費	市、民間団体	←→				

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
95	民俗芸能の情報発信	上演日程等の情報発信	単費	市、民俗芸能保持団体	←————→				
96	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

⑩出雲の文芸と学問 ～出雲大社の社家や旧家、私塾跡などからたどる文化～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
97	資料調査、情報発信	出雲の文芸や学問の発展に尽力した文化人に関する資料の調査と情報発信	単費	市	←————→				
98	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

⑪海・川・陸のみちと町場の形成 ～多様な交通手段を生かした交流・交易とくらし～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
99	文化財群に関する情報発信	海・川・陸のみちと町場に関する情報発信	単費	市	←————→				
100	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←————→			

10. 歴史文化保存活用区域に関する取組

歴史文化保存活用区域では、文化財群や個々の文化財を核とし、文化的な空間を創出するための9つの区域を設定し、保存・活用の取組を進めていきます。

区域内の文化財の調査・研究をはじめ、区域が持つ歴史文化の魅力を磨き上げ、再発見し、情報発信に努めます。

また、市民や観光、地域団体と連携し、見学ルートづくりを進め、歴史文化を生かした観光振興や

地域起こしにつなげていきます。

- 【重点的な取組】 ○各区域の情報発信及び保存・活用の推進
 ○文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

①出雲大社と門前町

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
101	門前町としての魅力再発見と情報発信	神社と町並み、歴史文化をじっくりと鑑賞・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、観光事業者、民間事業者				↔	
102	指定・登録文化財等の保存活用	出雲大社、神門通り、旧大社駅等の保存と一体的な活用	文化財補助金(国費)、単費	市、所有者、民間事業者				↔	
103	【再掲】重文旧大社駅建造物保存修理	建築後約100年経過し、老朽化著しい重文旧大社駅舎の半解体修理工事及び構造補強工事等	文化財補助金(国費・県費)、単費	市	↔				
104	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		↔			

②出雲大社と鰐淵寺・萬福寺(大寺薬師)、日御碕神社が物語る神仏の歴史と文化

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
105	「神仏隔離に基づく習合」、中世出雲神話の魅力再発見と情報発信	神仏習合といち早く行われた神仏分離、中世出雲神話にまつわる文化財等を鑑賞・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、観光事業者				↔	
106	指定文化財等の保存・整備	鰐淵寺などの中核となる構成文化財や施設の総合的な保存・整備	文化財補助金(国費)、単費	市、所有者				↔	

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
107	【再掲】重文日御碕神社建造物保存修理	重文日御碕神社の老朽化した石造鳥居の保存修理工事	文化財補助金(国費・県費)、単費、所有者	所有者		↔			
108	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

③中世港湾都市・平田を引き継ぐ「木綿街道」と出雲平野の生業

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
109	町並み景観と特産品をいかした魅力再発見と情報発信	観光地「木綿街道」と酒、醤油、生姜糖等を体験・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、観光事業者、民間事業者				↔	
110	木綿街道の歴史的建造物調査と文化財登録の推進	歴史的な町並みを形成する店舗、住宅等の調査と文化財登録の推進	単費	市、所有者		←	→		
111	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

④築地松のある散居集落の文化的景観とくらし

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
112	散居集落景観の魅力再発見と情報発信	全国でも希少な築地松と出雲屋敷の散居景観を鑑賞・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、保存団体				↔	
113	【再掲】出雲屋敷や築地松の保存継承	出雲地方特有の散居集落の保存継承支援	単費	市、所有者、保存団体	←	→			
114	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←	→		

⑤日本史に刻まれる出雲の弥生遺跡と古墳

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
115	出雲の弥生遺跡と古墳の魅力再発見と情報発信	教科書に掲載されるほど重要な弥生遺跡や重要な古墳を鑑賞・学習するしかけづくりと魅力発信	文化財補助金(国費)、単費	市				↔	
116	博物館での展示会開催	弥生・古墳時代をテーマとした博物館企画展の開催	文化財補助金(国費)、単費	市、指定管理者	↔				
117	弥生遺跡や古墳の調査・研究及び情報発信	弥生・古墳時代の出雲の勢力とくらしに関する調査・研究と成果の情報発信	文化財補助金(国費)、単費	市	↔				
118	【再掲】主要古墳の保存活用計画の策定	国富中村古墳など国史跡主要古墳の保存活用計画の策定	文化財補助金(国費)、単費	市		↔			
119	【再掲】国史跡国富中村古墳現地整備	全国で希少な未盗掘古墳の石室内を見学できる現地施設の整備	文化財補助金(国費)、単費	市					↔
120	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		↔			

⑥たたら製鉄遺跡群と農山村景観

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
121	たたら製鉄と棚田の農村景観の魅力再発見と情報発信	たたら遺跡と棚田などの農山村景観を鑑賞・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、保存団体				↔	
122	【再掲】たたらガイダンス施設の整備	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡のガイダンス施設の整備	文化財補助金(国費)、単費	市		↔			
123	【再掲】たたらの調査・研究	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡を中心とした調査・研究	文化財補助金(国費)、単費	市	↔				
124	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		↔			

⑦島根半島の“浜”と“浦” ～日本海沿岸の暮らしと自然～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
125	島根半島の浜と浦に関する魅力再発見と情報発信	リアス式海岸の特徴的な景観と生業、伝統行事を体験・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、地域団体				←→	
126	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←→			

⑧神西湖の文化的景観と生業

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
127	神西湖に関する歴史文化・景観の魅力再発見と情報発信	江戸中期選定の神西湖九景や歴史文化を体験・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、地域団体				←→	
128	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←→			

⑨神戸川と沿岸の暮らし ～四つ手網に代表される生業と文化的景観～

No.	取組事項	内容	財源	取組主体	1年目	2年目	3年目	5年目	10年目
129	神戸川と沿岸の暮らしに関する魅力再発見と情報発信	世界で唯一の「四つ手網漁」による落ちアユ漁の希少性や魚料理等を体験・学習するしかけづくりと魅力発信	単費	市、地域団体				←→	
130	【再掲】文化財を巡るルートづくりと市民・観光客の利用促進	見学ルートの設定と観光事業者、個人観光へのPR	文化財補助金(国費)、単費	市、地域住民、観光事業者		←→			

第6章 文化財の保存・活用の推進体制

文化財の保存・活用を円滑に進めていくためには、市文化財課の体制をはじめ、関係課、県文化財課などの関係機関と連携し、推進体制を確立して事業実施をしていくことが求められます。このため、次の体制とするほか、文化財所有者をはじめ、文化財保存団体や地域住民、地域団体、観光事業者等とも連携を進めていくこととします。

また、文化財保存活用地域計画が認定された場合の事務処理特例の内容や、本計画の進捗管理と自己評価の方法について示します。

1. 推進体制

(1) 市の推進体制

○文化財課

【業務内容】 文化財の指定及び保存・活用
文化財の調査・研究
埋蔵文化財に関すること
市立博物館2館の管理運営及び展示・教育普及活動

【推進体制】 文化財保護係（文化財保存・活用、文化財調査）
埋蔵文化財係（埋蔵文化財調査）
博物館企画係（博物館管理運営、教育普及活動）
博物館学芸係（博物館展示・研究）

【専門職員】 出雲弥生の森博物館館長、史料調査専門研究員、博物館専門研究員

○関係各課

計画推進にあたっては、観光、景観、防災、教育等の分野ごとに関係部署と適宜調整、連携を図り事業を実施する。

(2) 市民・地域の推進体制

○出雲市文化財調査協力員

市内43地区の文化財調査協力員による文化財調査、現況確認等の活動

○文化財所有者

文化財の適切な管理、き損届等法令に定める各種手続等の履行

○文化財保存・活用団体

出雲市無形文化財連絡協議会、出雲王墓の里文化財ガイドの会、田儀櫻井家たたら製鉄遺跡保存会、大寺薬師奉賛会（重文四天王立像等）等の文化財保存・活用団体による文化財ガイド、上演及び保存・活用事業の実施

○地域組織

各地区コミュニティセンター等の地域組織による文化財・歴史講座や保全活動等の実施

(3) 文化財保護審議会

- 【審議事項】 文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議
 【委員数】 15名（学識経験を有する者及び関係行政機関の職員で構成）

(4) 連携を図る県・関係機関

島根県文化財課、島根県古代文化センター、島根県埋蔵文化財調査センター、島根県立古代出雲歴史博物館、市内及び近隣市町の博物館、島根大学、観光事業者 等

2. 事務処理特例の適用を希望する事務の内容

- ・登録文化財候補の文化庁への提案
- ・金属、石又は土で作られた重要文化財の型取りに係る現状変更の許可、取消し、停止命令

3. 計画の進捗管理と自己評価の方法

本計画を円滑に実施するためには、進行管理を的確に行う必要があります。そのプロセスでは、P D C Aサイクル（計画・実施・評価・改善）の考えを取り入れ、計画的に事業・取組を実施し、その中間点や終了時点などでは、達成状況、課題などの把握・評価を行い、当該事業等の改善及び他の事業や次への展開への反映に努めます。

こうした進行管理の過程で、必要に応じて見直しを行います。

なお、事業の進捗状況については、出雲市文化財保護審議会に諮っていきます。

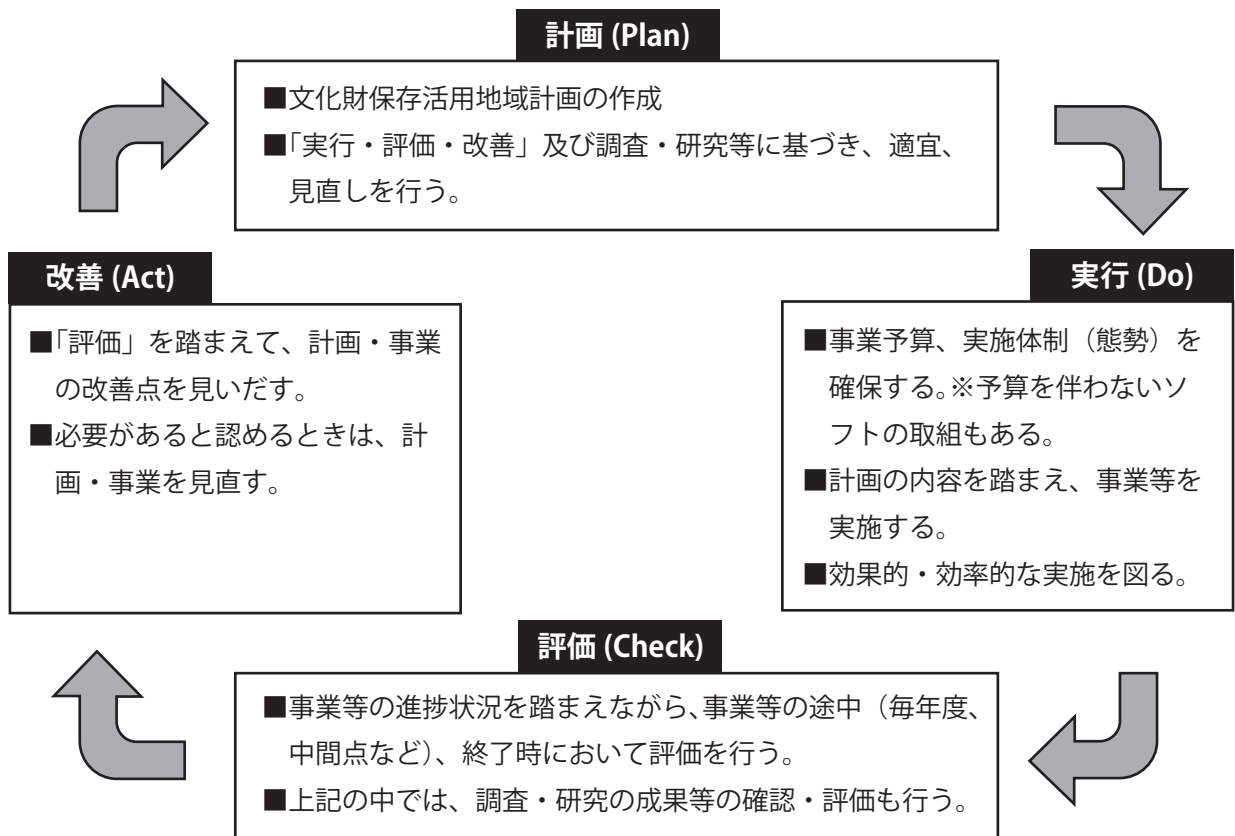


図 36 進捗管理と自己評価のイメージ